

## 南部労福協 2018 年度定期総会開催！！

### メインスローガン 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！

労働者福祉南部ブロック協議会(南部労福協)は、2018年2月15日(木)、14時から大分市全労済ソレイユにおいて2018年度定期総会を開催しました。

総会には、九州・沖縄各県労福協から選出された代議員、福祉事業団体の役員等、57名が参加しました。福岡県労福協からは、高島理事長、梶原副理事長、佐田副理事長の3名が総会代議員として出席し討議に参加しました。(深町専務理事は南部労福協役員、染井理事、坂本理事、木村ライフサポートふくおか事務局長は傍聴として参加しました)

冒頭、島袋幹事(沖縄県労福協事務局長)の開会挨拶で始まり、議長団に大分県労福協から麻生代議員(九州労金大分県本部)と篠田代議員(全労済大分推進本部)の両名が選出され議事に入りました。

まず、南部労福協幹事会を代表して佐藤会長(大分県労福協理事長)から挨拶があり、その後、中央労福協 南部副会長、連合九プロ連絡会 西村代表幹事、大分県商工労働部 神崎部長から祝辞と連帯のご挨拶がありました。

吐合事務局長(大分県労福協専務理事)から、第1号議案・2017年度活動報告、第2号議案・2017年度会計決算報告及び収支差額処分案、川野会計監査員より会計監査報告、第3号議案・2018年度活動方針(案)、第4号議案・2018年度予算(案)について提起され審議の結果、満場一致で承認されました。議長団から総会スローガンが読み上げ提案され全体の拍手で採択されました。

全ての議事が終了し、最後に末永幹事(熊本県労福協専務理事)から閉会の挨拶があり、15時30分に終了しました。

### 2018 年度 定期総会記念講演

定期総会終了後、大分県立芸術文化短期大学准教授で特定非営利活動法人「まちのカルシウム工房」代表の竹内裕二氏から「地域活動への誘い」一活動前の不安の正体とその解決策一と題して記念講演が開催されました。

講演では、「地域の皆さんのが地域活動についての想い」や「地域活動をする上での障害」「地域活動を始めることの難しさ、続けることの難しさ」そして「人々の身近な営みの延長線上で地域活動は形作られる」として「地域活動は、活動する者の動きに周りが合わせていくことが大事」と講演がありました。



南部労福協幹事会を代表して挨拶する佐藤寛人会長

2018 年度 南部労福協幹事会役員

役職名	氏名	選出団体名	備考
会長	佐藤 寛人	大分県労福協	
事務局長	吐合 史郎	大分県労福協	
幹事	深町 裕二	福岡県労福協	
〃	江頭 一哉	佐賀県労福協	
〃	松尾 清弘	長崎県労福協	
〃	末長 孝	熊本県労福協	
〃	竹野 広幸	宮崎県中央会	
〃	畠中 和広	鹿児島県労福協	
〃	島袋 鉄夫	沖縄県労福協	
〃	矢田 信浩	連合九プロ	新
〃	山城 正一	九州労働金庫	
〃	成岡 義光	沖縄県労働金庫	
会計監査	岩木 克明	全労済福岡推進本部	新
〃	後藤 寿之	九州労金大分県本部	
〃	川野 雅裕	全労済大分県本部	



講演される講師の竹内裕二准教授

# 中央労福協 第1回地方労福協会議開催！！

中央労福協は、3月1日(木)から2日(金)の両日、東京都港区芝「東京グランドホテル」において、「第1回地方労福協会議」を開催しました。会議には全国地方労福協役員、中央労福協事務局、講師等、58名が参加し会議が進められました。

冒頭、黒河副会長から主催者を代表して挨拶し、座長に就任して会議が進みました。会議では、中央労福協・各ブロック労福協から報告の後、講演として「消費者被害の防止・救済と地方消費者行政の充実に向けて」をテーマに一般社団法人 全国消費者団体連合会 事務局次長 小林真一郎氏から「・NPO法人消費者スマイル基金について・消費者契約法の改正について・地方消費者行政の充実について」の取り組みと「生活困窮者自立支援と生活保護制度の見直しの現状と課題」について、首都大学東京 都市教養学部教授 岡部 卓氏から講演があり、意見交換を行いました。事例報告では、①島根県労福協より、「高校生のための消費者・ワークルール講座の取り組み」、②大分県労福協より、「九州労金の奨学金借換と組織化の取り組み」、③北海道労福協から「HLSC(北海道LSC)と北奨ネットの取り組み」、④新潟県労福協から「新潟県ライフサポートセンターの取り組み」について報告がありました。また、花井事務局長から2018年度の重点課題について報告があり、加盟団体や関係団体等との連携のもと「連帶・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けて取り組むことを確認し、二日間の会議を終了しました。



第1回 地方労福協会議会場

## 会員だより

### ～九州労働金庫福岡県本部～

〈ろうきん〉は働く仲間がつくった金融機関です。



〈ろうきん〉は、戦後の食糧・住宅難など深刻な社会情勢の中で、働く人たち自らが経済的・社会的地位の向上を図るため、労働者のための金融機関を持ちたいという機運が高まり、1950年に岡山県と兵庫県に誕生しました。その後、全国の都道府県にも〈ろうきん〉が設立され、九州では1952年に福岡県と大分県、1953年に佐賀県・長崎県、1954年に熊本県・宮崎県・鹿児島県に設立されました。そして、さらなる経営の効率化と基盤の安定・強化を図り、会員と勤労者の方々へ、これまで以上により良い金融サービスを提供するため、2001年10月に九州7金庫の合併により《九州ろうきん》が誕生し、今日に至っています。

〈ろうきん〉は、労働組合や生活協同組合などの働く仲間がお互いを助け合うために、資金を出し合ってつくった共同組織の金融機関です。非営利を原則に、公正かつ民主的に運営されています。〈ろうきん〉の業務内容は、預金やローン・各種サービスの提供など、一般の金融機関とほとんど変わりありません。しかし、資金の運用が全く違います。働く人たちから預かった資金は、働く人たちの大切な共有財産として、住宅・結婚・教育資金など、働く仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。

2017年3月末現在のご利用状況は、九州全体で（うち福岡県）、団体会員数が6,127会員（1,399会員）、間接構成員888,101人（353,706人）、預金残高1兆7,559億円（4,045億円）、融資残高1兆1,840億円（2,714億円）と大変多くのご利用を頂戴しています。

これからも、〈ろうきん〉は働く人たちのあたたかい共感と協働をベースとして、働く人の生活をしっかりとサポートし、ふれあいを大切にする金融機関を目指していきます。

（九州労働金庫福岡県本部 松永 穎徳）

つかえるろうきん みんなのろうきん

九州ろうきん

## 福祉募金へのご協力に対し心から感謝申し上げます。

2016年度は、8,287,811円のあたたかい浄財が集まり、県内23施設へ必需品を寄贈したことをご報告申し上げます。2017年度は(2017年12月1日～2018年3月31日)現在取り組み中です。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

## 2016年度「福祉募金」の取り組み状況

地域名	寄贈先	寄贈物品等	寄贈日
遠賀川	「社会福祉法人 鞍手ゆたか福祉会サンガーデン鞍手」	テレビ2台、テーブル3台、イス22脚	2017.07.14
福岡 【12施設】 福岡地区6 糸島地区3 宗像柏屋3	就労移行支援 アテンド	パソコン、モニター	2017.10.21 福祉募金寄贈式
	つばめ工房 原作業所	ラベルプリンター	
	NPO法人 JACFA(ジャクファ)	パソコン、プリンター	
	NPO法人 ギフティッド	パソコン、冷蔵庫、プロジェクト	
	無償フリースクール ギフティッド	パソコン、	
	障害福祉サービス事業所 JOY俱楽部	ステージ衣装、音響用マルチテーブル	
	NPO法人 いるかねっと	伸長式テーブル、ダイニングセット	
	多機能型事業所 糸島たんぽぽ	平行棒(手摺り)	
	放課後等デイサービス ぱていきお	防音マット、シューズボックス、荷物置き他	
	放課後等デイサービス 伊都のゆめふうせん	パネルデスク、平均台、ソフト跳び	
	放課後等デイサービス ぱれっとぱらす	卓球台、卓球関連器具、	
	社会福祉法人 起生会 アトリエ夢工房	業務用ミキサー、電子レジスター	
	社会福祉法人 さつき会 はまゆうワークセンター自由ヶ丘	エアコン、テレビ、アンテナ、ソファ	
京築・田川	豊前築上地区連絡会 障がい児入所施設 月の輪	テレビ1台、電子レンジ1台、 クリーナー2台、	2017.09.06
	行橋京都地区連絡会 相談支援事業所 cotton	複合機1台、ダイニングテーブル1台、 ハンモック1個、	2017.09.06
南筑後	特定非営利活動法人 ふくし邑	パソコン、プリンター、テレビ、	2017.12.15
	NPO法人自立生活センター筑後 地域活動支援センターJOY工房オーナー	エアコン、ウォシュレット、	2017.12.15
筑紫・朝倉	障がい者・障がい児問題を考える会	デスクパソコン	2017.10.13
北筑後	久留米総合型地域 スポーツクラブ「桜花台クラブ」	競技用車いす	2017.09.22
	障害児(者)をもつ家族どうしが共に学 び支え合う会「ゴコチ」	パソコン	2017.09.22
	大川市立図書館ボランティア 「ライブラリーフレンズおおかわ」	本立て	2017.09.27
	特定非営利活動法人 「おおき・ほつとかん」	ブックシェルフ	2017.09.27
北九州	北九州市社会福祉協議会	シルバーひまわり移送サービス車輛1台	2017.04.29

[目的]心身ともにハンディキャップを背負いながらも、自立と社会参加をめざす人達の福祉向上と、支援の輪を広げていくことを目的として活動をしています。ご支援宜しくお願いします。

# 九州北部豪雨災害支援

## 福島県・福岡県労福協の義援金 福岡県へ贈呈！！

昨年の12月末、福島県労福協より、九州北部豪雨被害の義援金が、福岡県労福協に贈られて来ました。福岡県労福協は、この義援金を福岡県へ贈呈するため、本年1月9日(火)、福岡県労働局長室において、福島県労福協からの義援金・福岡県労福協からの義援金の目録を、福岡県労福協高島喜信理事長から福岡県福祉労働部 樋口直樹労働局長へ贈呈しました。

樋口直樹労働局長は「福島県・福岡県労福協の皆さんからのあたたかいご支援に感謝申し上げる。現地被災地では、まだまだ復興に向けて道半ばですが、行政と労働福祉団体がしっかりと力を合わせて一日も早い復興を取り組んで行くことを改めて確認させていただいた。今後とも息の長いご支援を引き続きお願いしたい」とお礼の挨拶がありました。



福岡県労働局長室にて贈呈式

## 柿の購入支援 1000kgを超す！ご協力ありがとうございました

福岡県労福協は、九州北部豪雨災害発生時から多岐に亘る支援活動を取り組んでいます、「グリーンコープ生協ふくおか」より「柿の購入支援」要請があり、取り組むことを第7回理事会で確認しました。この柿は、災害による復興作業等で、柿の収穫作業が遅れ、さらに収穫後の柿に一つ一つ袋をかける包装作業が遅れたことで、店頭販売できない少し過熟した富有柿で、食するには、まだ十分だということでした。取り組み期間は、10日間でしたが、1000kgを超す注文がありました。

「グリーンコープ生協ふくおか」と生産者から、お礼と感謝の連絡がありました。

つみねぎ まちかん  
みみなかみ こうきん **九州ろうきん**

カーライフローン  
・教育ローン  
キャンペーン

カーライフのことなら

教育資金のことなら

キャンペーン期間  
2017年10月1日(日)~2018年4月30日(月)まで

九州ろうきんホームページから  
ローン仮審査お申込が  
24時間いつでもできます!!

※ 携帯電話のモバイルサイトからはお申込いただけません。

ローン仮審査お申込みは、  
ホームページで承ります。

<http://kyuyu.rokin.or.jp/>

九州ろうきん 検索

ZENROSAI NEWS 4016B008

## 全労済の住まいの共済

新火災共済・新自然災害共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

**全労済** 全労済福岡推進本部  
(福岡県労働者共済生活協同組合)

全国労働者共済生活協同組合連合会

